

直角定規 (スコヤ) (SQUARES)

直角定規とは：L字形の構造で垂直方向の長片と水平方向の短片とで出来ているものを言う
 外側面を使用する外角と内側面を使用する内角とがあり、どちらも直角精度の測定時に使用する（比較測定）

名称及び規格精度（平形スコヤ 1,2 級、台付スコヤ 1,2 級）

台付スコヤ名称		平形スコヤ名称	
1. 外角、内角の直角からの狂い		2. 側面の倒れ	
<p>外側角の直角からの狂い 内側角の直角からの狂い</p> <p>1 級 $\pm (10 + L/20) \mu m$ 2 級 $\pm (20 + L/10) \mu m$</p>		<p>1 級、2 級共に直角からの狂いの 10 倍以下とする</p>	
		3. 真直度及び平行度	
		真直度の許容値 1 級 $\pm (5 + L/40) \mu m$ 2 級 $\pm (10 + L/20) \mu m$	
		平行度の許容値 外側使用面と内側使用面との平行度許容値は真直度許容値の 2 倍とする	
		注：L は呼び寸法及び使用面全長を表す	

直角定規 (スコヤ) を使用しての性能測定事例集 (直線と平面の直角度の測定)

<p>テストバー 直角定規</p>	<p>測微器 直角定規</p>	<p>直角定規</p>
平面と穴との直角度をテストバーと直角定規とで出来た隙間をスキマゲージ等で求める	直線運動方向と平面との直角度をダイヤルゲージ等を当てて動かし指針の最大値を求める	軸の直角度を一方軸に直角定規を当て、もう一方の軸の隙間をスキマゲージ等で求める